

日和のこと 桜井神社の祭りがあります

10月、祭りの季節になりました。
桜井神社で祭典、神楽奉納などがありますのでぜひご参加ください。

令和8年 10月16日（金）	17:00 -	祭典
桜井神社 前夜祭	18:00 -	神楽奉納 四方堅、子ども神楽、鈴鹿山
令和8年 10月18日（日）	14:15 -	子どもみこし（日和公民館 発 予定）

公民館のこと 公民館にある忘れ物などを処分します

- ・公衆電話の棚にある忘れ物
 - ・調理室、冷蔵庫・冷凍庫内の記名のない物、賞味期限切れの物
- 年明けに処分しますので、年内にご確認ください。



コミスクの詳細はこちらから▲

【コミスク発!】 子ども達のために、できることから始めてみませんか

石見地域学校運営協議会（コミスク）では、「子ども達のために家庭や地域ですぐにできそうなこと」を発案・提案しています。

- ①「ながら見守り」をはじめよう
- ②挨拶・姿を学校へ届けよう
- ③行事に参加して、学校を知ろう
- ④「ありがとう」の輪を広げよう

暮らしの中で「できそうなこと」から少しずつ始めてみませんか？



『宇宙について知っておくべき100のこと』 是非お手に取ってみてくださいね。

文 アレックス・フリス アリス・ジェームス ジェローム・マーティン
イラスト フェデリコ・マリアーニ ショウ・ニールセン
訳・監修 竹内 薫
出版 小学館

皆さんは知っているでしょうか？

現時点で月は地球からできたと考えられています。他の天体と地球がぶつかって飛び散ったカケラが月になったんだとか。実は親子ってこと！？

と、なんだか気になる宇宙に関する話が簡単に1ページで説明されています。どこから開いてもふむふむなるほど！となり、全てを読まなくていい本です。全ページがイラストになっているので見るだけでも面白い構成です。



令和8年9月19日 第274号 文責：湯浅

今月号のかわいい題字とイラストを書してくれたのは、鉄穴平の孫、洲濱 佳来さん

佳来さんはいま瑞穂小学校の2年生。今日も走ってます！
お話を聞きました。

- ① いま、がんばっていることを教えてください。
ーはしること（陸上!）、はずかしがらないこと、絵をかくこと
- ② じいじ、ばあばと過ごす日和の、どんなところが好きですか？
ー花束をつくったり、一緒に絵をかいたり、お手伝いしたり、野菜の収穫をしたりすること

「はずかしがらないこと」、大事ですよ、、！ 応援してます！



日和のこと

もしかして、流行ってる？

今年の5月、ヒワココの前に「にこにこ花壇」が完成しました。植えられたのは秋の七草のひとつ、“フジバカマ”という花です。

日和のフジバカマの花は9月下旬ころから本格的に咲き始めおよそ10月いっぱいだそうです。みなさんが待っているのは花ではなくそこに飛んでくるちょっと変わった“蝶”なんです。

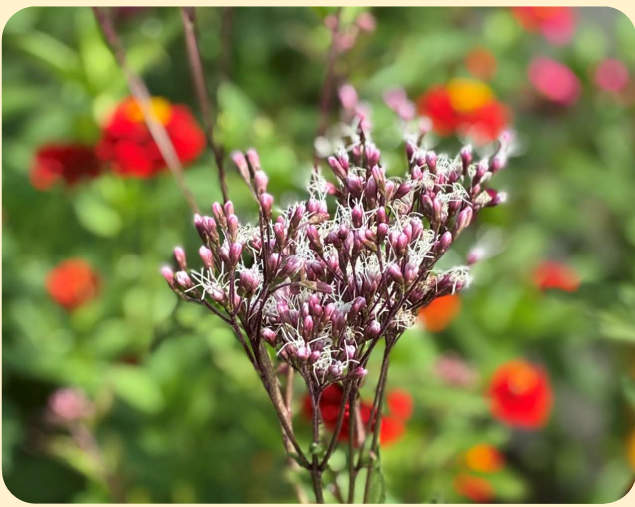
公民館にいと色々な日和の話を書きますが、ふと、どうやらフジバカマが日和に広がっているのでは？と思いました。全部を見て回することはできませんが、聞ける範囲でフジバカマと、その蝶のことをお聞きしました。

海も国境も超える“渡り蝶”

その蝶の名前は『アサギマダラ』。インターネットで見ても現在たくさんの研究がされている謎が多い蝶、ということ、そして必ず書いてあるのが『海を渡る』ということです。…ひらひらと飛ぶ蝶が海を渡る？2,000kmの旅、とも書いてあります。ネットの画面をみても謎ばかりのため、もしかしたらという思いで、様々な動植物の研究活動をしている島根県立三瓶自然館サヒメルに問合せしてみたところ、専門のスタッフの方からとても丁寧にお話をしてくださいました。（突然のお電話に対して丁寧にありがとうございました。）

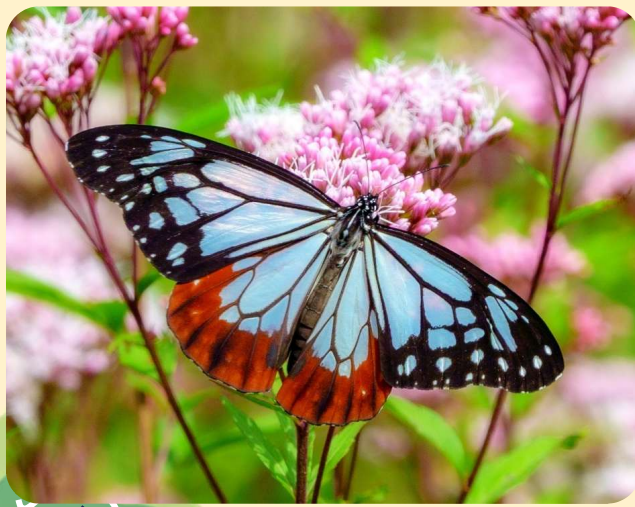
日和のアサギマダラは、“旅立つ前”、かもしれません

『アサギマダラは“渡り蝶”で有名で、一方、生態に謎が多くそこが魅力でもあります。飛来ルートを調べるために蝶の羽に日付や場所などを記入する「マーキング調査」をサヒメルでも行ったことがあります。三瓶でマーキングした蝶が鹿児島で見つかったこともあります。この“渡り蝶”は、大まかには春に台湾や沖縄の方から北上し（北海道にも飛来地が確認されています）、オオカモメヅルという植物に卵を産み、世代が変わります。育った蝶々は今度はフジバカマやヒヨドリバナの花を渡りながら秋に南下をはじめ、台湾や沖縄方面に戻っていき、



フジバカマ

キク科の多年生植物。
秋の七草のひとつで、秋に花（割と控えめ）を咲かせます。
花の色は淡い藤色やピンク、白があるそうです。地植えで値が付いてしまえば、育てるのは簡単とお聞きしました。
有毒成分を含んでいるためペットには気を付けましょう。



アサギマダラ

成虫期間が4～5カ月、これは蝶の中では長寿だそうです。
みなさん揃って言われるのが、「人慣つっこい」ことで、近くまで寄ってくるそう。寺本昌子さんは“幸せな気持ちになる”と表現されてました。
身を守るためや、オスがフェロモンの原料として毒性分を摂取するようです。



聞けた範囲で
日和フジバカマMAP
フジバカマを育てられている場所をマップにおとしてみると、日和の端から端までであることがわかります。さて、アサギマダラがどう渡っていくのか楽しみです！

そこで世代が変わります。往路と復路で蝶の世代が変わるため、なぜ目的地がわかるのか（なかには帰らない蝶もいるそうです）、大きな謎がある蝶です。』

詳しい方からしても謎が多い蝶ですが、秋に日和で見られるアサギマダラは、これから海を渡り、南に帰っていくところかもしれません。

ここから、たくさんの方に日和のフジバカマ、アサギマダラの様子をお聞きしました。
別紙に続きます

フジバカマ、アサギマダラ、日和のみなさんのお話

公民館だより9月号

今月号は
もう一枚



“あそこにも植えてるよ”と教えてもらいながら、日和のあちこちにフジバカマを訪ねました。（みなさん、お庭が綺麗！）

寺本 昌子 さん

初めてフジバカマを植えたのは5年前。この花に幸せを運ぶ蝶が飛来すると聞かれていたそうです。初めてアサギマダラが飛来したときは1頭（蝶は“頭”で数えるそうです！）だけだったそうですが、それでも「むちゃくちゃ嬉しくて、本当に幸せな気持ちになった」と教えていただきました。その次の年から苗を増やし、そこから日和自動車板金塗装の工場にも増やしていただけます。



◀ 寺本さんの最初の一株

板金屋横の「アサギテラス」▶



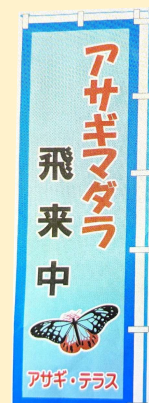
寺本 輝男 さん

「日和板金に植えた1年目は来なかった」そうです。そこから「2年目に5、6頭、3年目の去年は一気に50から60頭」に増えました。朝の9時から夕方の4時ころまで晴れた日に集まってくるそうです。「それとそうそう、」と見せたいいただいたのが、『アサギ・テラス』というのぼりの画像（!）です。“誰でも見に来てください”と今年から立てる準備をされていました（もうすぐですね!）。

また、「育てるのは簡単だよ」と、株の手入れも教えていただきました。

春に芽が出だし、5月ころに株分け、6月ころに半分程度切り戻し、夏～秋と花が終わった後、11月ころには一度刈り込み、冬を迎えます。

アサギテラスは、いま日和で一番たくさんの花がある場所ではないでしょうか。



のぼり▲
楽しみにしています！

森田 富士夫 さん

日和板金から、日和の反対側へ。森田さんのところでは3年目となる株を見せていただきました。去年は4頭くらい来たそうです。伺ったときがちょうど株を追加で植えようとされているところで、花畑が広がる予定です。今年もアサギマダラを楽しみにされていました。

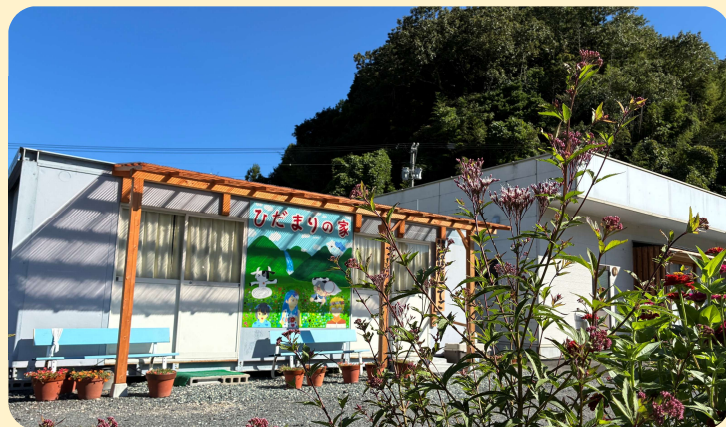
輝男さんと同級生。
株も輝男さんの株だそうです▶



にこにこ花壇

日和の真ん中のあるヒワココ・ひだまりの家の前にある「にこにこ花壇」に帰ってきました。にこにこ花壇では今年の5月に植えたフジバカマが大きくなって花をつけ始めています。ひだまりの家の前にはベンチも置かれていて、アサギマダラが飛んで来たときに、誰でもゆっくりと見ることができます。また、日和地区社協では毎週水曜日、午後1時から4時まで「ひだまりサロン」を始められているので、合わせて寄ってみてください。

ひだまりの家の前、
少し咲き始めてました▶



溝辺 毅 さん

今年の5月に植えられたというフジバカマの株ですが、大きく育ち、いち早く花が咲いていました。アサギマダラが来るのをとても楽しみにされています。

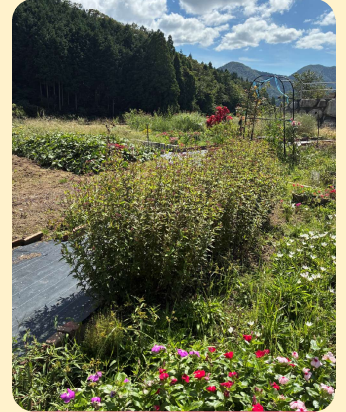
フジバカマの花壇
薄桃色の花が咲いています ▶



溝口 トシヨ さん

たくさんの花を育てられている溝口さんの庭には3年目になるフジバカマがありました。1年目のときからアサギマダラが来ていて、去年は10月中頃に30頭くらい来たそうです。「蝶はとっても人懐っこくて、綺麗なのよ」と楽しそうに教えてくださいます。

見晴らしのいい庭の
アサギマダラ ▶



藤住 美千枝 さん

藤住さんのフジバカマは2年目になりますが、去年は残念ながらアサギマダラは来なかったそうです。藤住さんのお話で好きなのが「日和のなかでアサギマダラが渡っていけば素敵よね」と言われることです。（公民館だよりで取り上げてみようと思ったきっかけでもあります。）毎年綺麗な蝶が渡って行って、それを楽しみにする話題と一緒に、そここでつながっていく風景はとても素敵だと思います。



◀ 待ち遠しいですね。

大羽 節子 さん

大羽さんの家の周りにもたくさんの花があって、たくさんの蝶が飛び交っていました。フジバカマは1年目ですが挿し木をして株を増やされています。「どんな蝶が来るか、とても楽しみ」にされていて、またひとつ、蝶の種類が増えますね。

元気よく育っています ▶



高橋 美智子 さん

ひよりの会が終わったあとの高橋さんにたまたま会いました。何気ない話のなかで「フジバカマをうちにも植えて」と聞いたため、さっそく伺いました。

高橋さんも今年初めてフジバカマを植えられたそうですが「根が広がって、株が増えやすいのよ」と、小さな花の小枝が顔を出していました。

もうすぐ咲きそうなつぼみをつけていました ▼



お話を聞いたのは以上ですが、もちろん日和にあるフジバカマはこれが全部ではないと思います。2,000kmを旅するという蝶の、そのうちの2km程度、「今年も来たね」という声とともに、目移りしながら旅を楽しんでもらえるといいなと思います。

日和の秋に新しい楽しみが増えていきそうです。